

# Grandview

## PROJECTION SCREEN

### 手動巻き上げ型スクリーン 取り扱い設置説明書



(GSR-80AFW/100AFW/120AFW)




このたびはグランビュープロジェクションスクリーンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。お求めのスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱い設置説明書」をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保管し、わからないことがおきたときに読みなおしてください。

#### 安全上のご注意

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置方法を誤ったときに生じる、危害や損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。

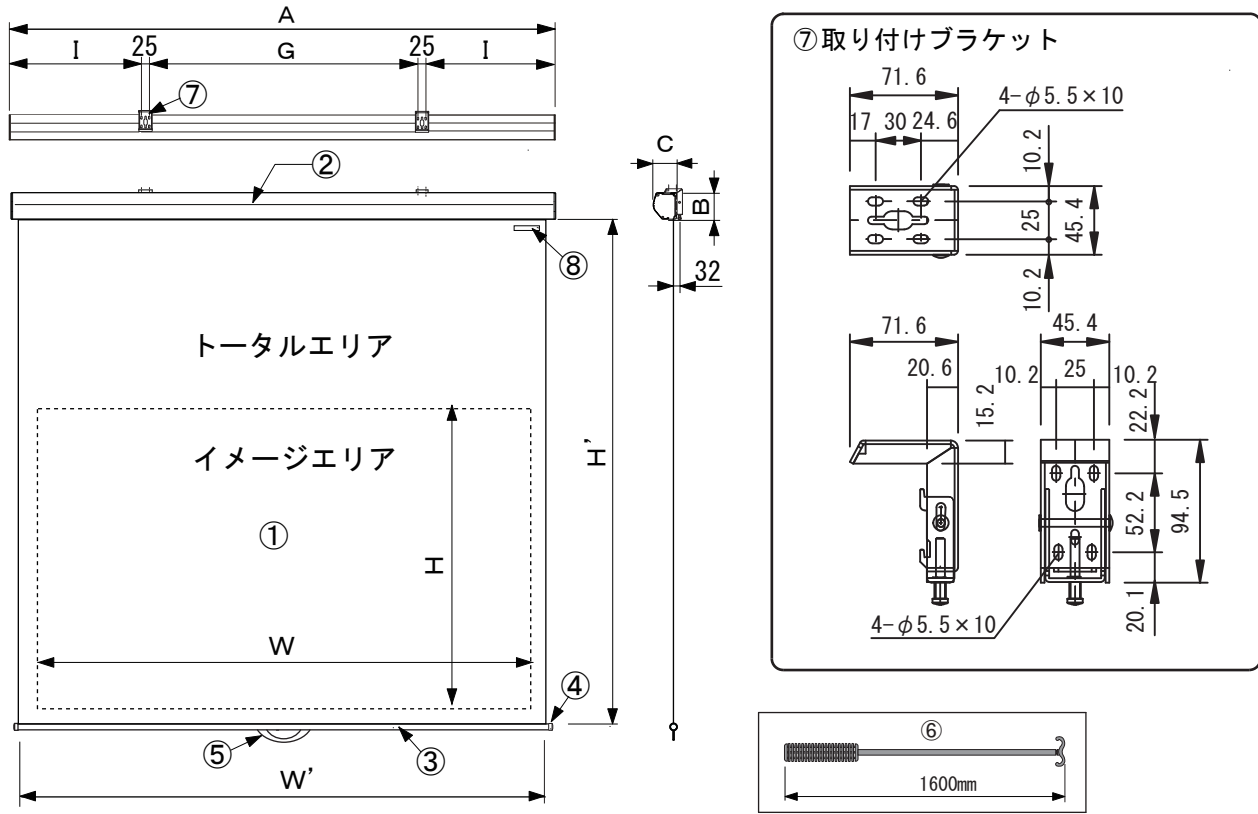
◆ 下記のマークのある注意事項および、指示内容を、必ずお守りください。

 <b>警告</b>	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただきたい「厳守」内容です。

取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

# 各部の名称・仕様および寸法



名称	① スクリーン	② スクリーンケース	③ 下部パイプ	④ パイプキャップ
	⑤ ハンドル	⑥ プルバー(引き下げ棒)	⑦ 取り付けブラケット	⑧ ストップマークシール

絶対にSTOPマークを超える位置までスクリーンを下げないでください。スクリーンが戻らなくなり故障の原因となります。

## スクリーン規格一覧

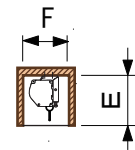
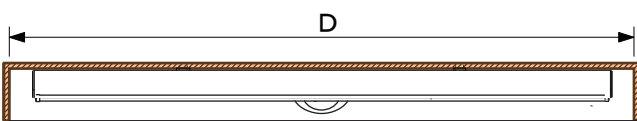
### ■アスペクトフリーサイズ

型番	イメージエリア W × H (mm)	トータルエリア W' × H' (mm)	外形寸法 A × B × C (mm)	取り付け推奨ピッチ G (mm) I (mm)	重量 (kg)
GSR-80AFW	1771 × 1219	1831 × 1900	1909 × 100 × 90	1300 279	10.4
GSR-100AFW	2214 × 1524	2314 × 2300	2385 × 100 × 90	1800 267.5	13.0
GSR-120AFW	2656 × 1829	2756 × 2300	2828 × 100 × 90	2200 289	17.0

※輸入商品の為、予告なしに仕様変更することがあります。  
※取り付け穴ピッチは推奨の位置です。任意で移動することができます。

単位 = Kg/mm

### 天井埋め込みBOX参考寸法(内寸法)



※天井埋め込みBOXはお客様側でご用意ください。

天井埋め込みBOX内寸 アスペクトフリータイプ D × E × F (mm)	
80AFW	2100 × 141 × 126
100AFW	2500 × 141 × 126
120AFW	3000 × 141 × 126

天井埋め込みボックスやカーテンボックスに取り付けする場合は、ボックス内面の高さおよび奥行を最低でも141mm(高さ) × 126mm(奥行)以上のものをご用意してください。この寸法より小さいボックスの場合には、スクリーン本体を取り付けする事はできません。(取り付け方法の詳細については2~4ページを参照ください。)

## 付属品

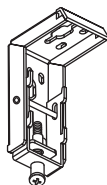




本機には、下記の部品が付属しています。取り付けの前に内容、必要個数が入っているか確認してください。

- ① 取り扱い説明書
- ② 取り付け用部品



**警告**

下記設置部品以外での取り付けはおやめください。取り付け時の不備による脱落の恐れがあります。

 取り付け ブラケット ・・・2個	 ボトム キャップ クッション ・・・2個	 トラストッピングネジ (M5×50mm)・・・8本	 引き下げ棒 ホルダー・・・1個	取り付け用ネジ (M4×15mm)・・・1本 

## スクリーン取り付け方法



**警告**

◆スクリーンを設置する壁や天井は、100kg以上支えられる強度が必要です。また石こうボードやパーティクルボードなどの場合は、下地の補強が必要です。強度が心配な場合は、必要に応じて補強してください。

◆補強が不足している面に取り付けると脱落する恐れがあります。



**注意**

◆天井取付に際し、下記の方法は絶対にしないでください。



**禁止**

- ・ボードアンカーのみによる施工
- ・ALCアンカーによる吊り下げ
- ・天井裏Mバーへ直接重荷をかける施工

◆壁取付に際し、下記の方法は絶対にしないでください。



**禁止**

- ・ボードアンカーのみによる施工
- ・補強下地無しの施工

## 合板の天井または壁に設置する場合



**注意**

合板は、少なくとも20mm以上の厚さが必要となります。

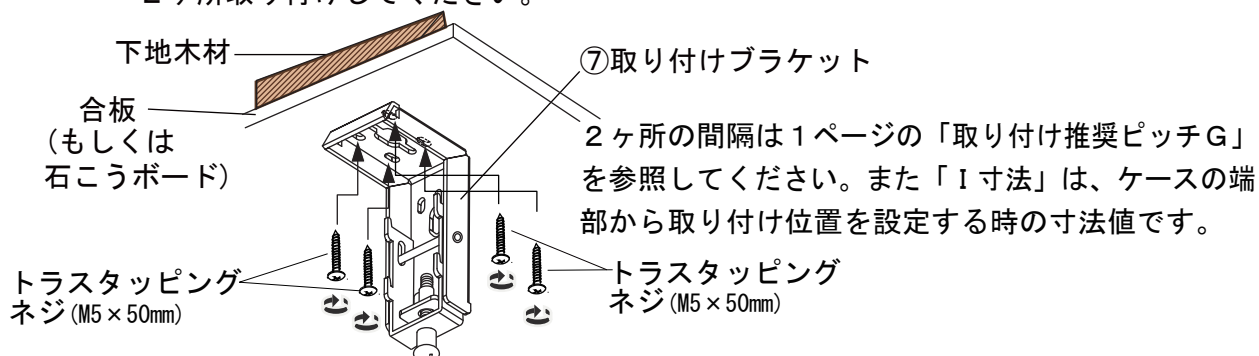
### ■取り付け場所の確認

本機は天井または壁に取り付けすることが可能ですが、あらかじめ取り付けをする場所に下地の木材が通っているか機器<sup>(※)</sup>などで確認してください。

(※)推奨機器：松下電工(株)「壁うらセンサー」等

## 1. 取り付けブラケットを天井に取り付けする場合

- 1-1 取り付けブラケット⑦をトラストッピングネジ(M5×50mm)で天井に⊕ドライバーで2ヶ所取り付けしてください。

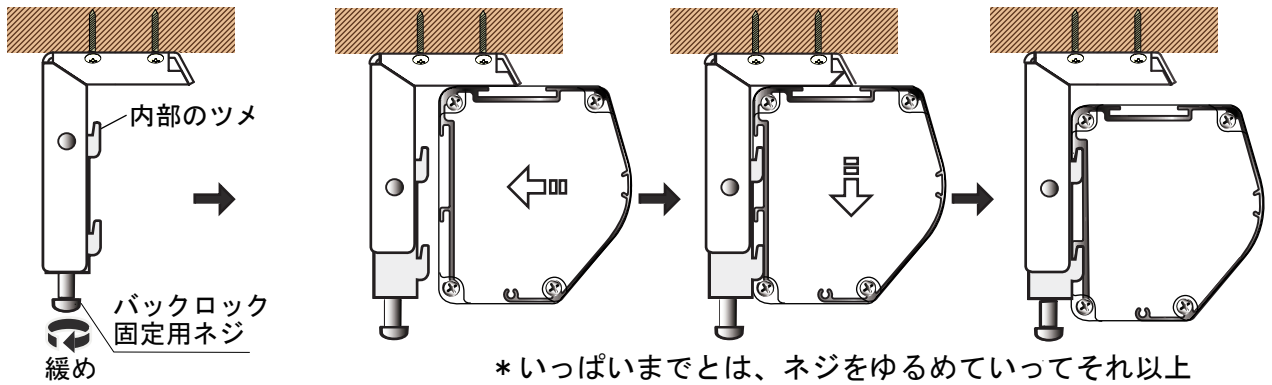




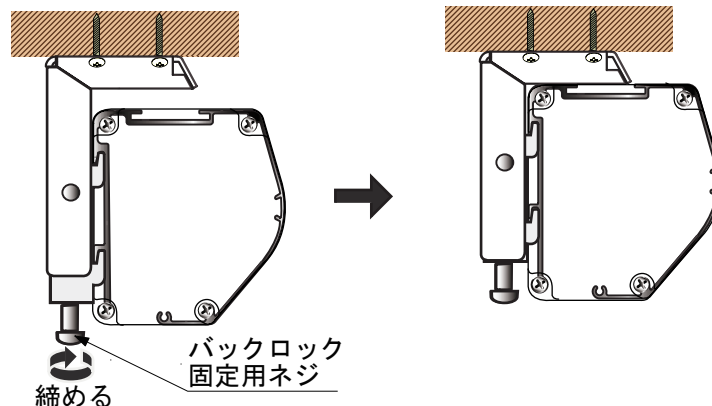
注意

取り付けブラケットは、スケールやレーザーポインター等の道具で位置を決定し、必ずそれぞれが平行になるように取り付けしてください。取り付けブラケットの平行が取れていないとスクリーンを取り付けできない場合があります。

- 1-2 バックロック固定用ネジを⊕ドライバーで**いっぱいまで**<sup>\*</sup>ゆるめてください。スクリーンケース天面をブラケットの下面に押し上げた状態で後ろへ押し付けながら、スクリーンケース後面のスリットに取り付けブラケット内部のツメが入る様にスクリーンを下げてください。



- 1-3 取り付けブラケット内部のツメがスクリーンケース後面のスリットにしっかりと入ったかどうかを確認して、取り付けブラケット下部のバックロック固定用ネジを+ドライバーでしっかりと締めてください。

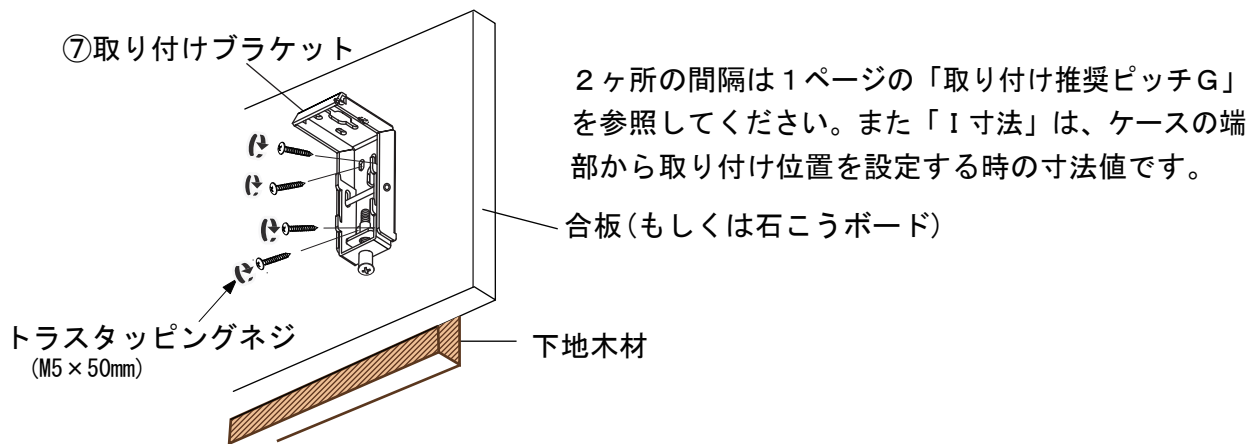


注意

- ・ 取り付けブラケットにスクリーン本体を取り付けする時には、必ず2名で行ってください。1人で作業を行うとスクリーン本体の落下、作業者の転倒や転落などの恐れがあります。
- ・ スクリーンケース後面のスリットへの差し込みや固定用ネジの締め付けは確実に行ってください。不十分な状態で取り付けが完了した場合は、後日スクリーン本体の落下によって人的障害の発生の恐れがあります。

## 2. 取り付けブラケットを壁に取り付けする場合

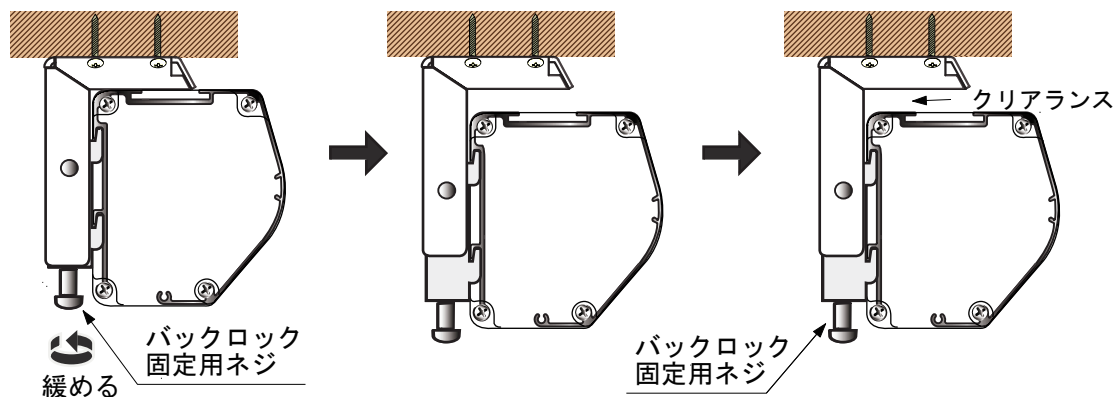
- 2-1 取り付けブラケット⑦を付属のトラスタッピングネジ(5×50mm)を使って壁に⊕ドライバーで取り付けしてください。



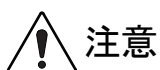
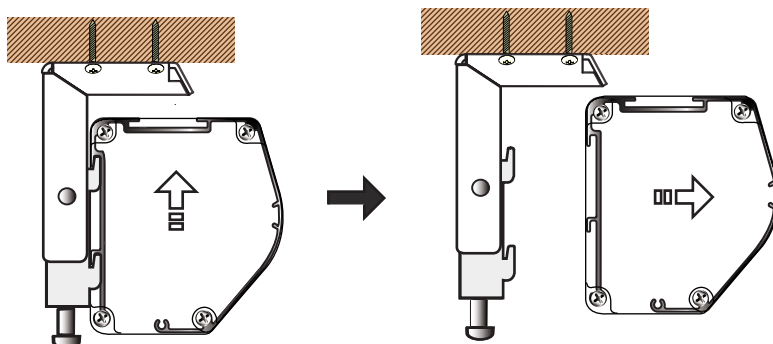
- 2-2 取り付けブラケット内部のツメが、3ページの1-2の手順でスクリーンケース後面のスリットに入る様にしてください。
- 2-3 取り付けブラケット下部のバックロック固定用ネジを3ページの1-3の手順でしっかりと締め付けしてください。

## スクリーン本体をとりはずす方法

- 1-1 取り付けブラケット下部のバックロック固定用ネジを⊕ドライバーでいっぱいまでゆるめて、スクリーンケースを下に下げてください。  
(注)スクリーンケースを取り外しの為のクリアランスを確保する為に、必ずいっぱいまでゆるめてください。



- 1-2 スクリーンケースを上を持ち上げて手前に引き出します。

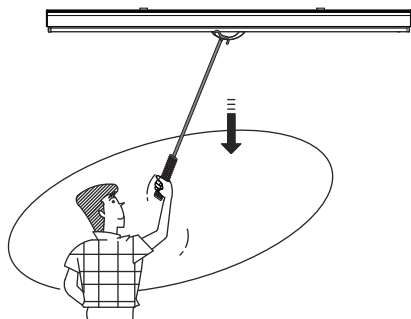


- ・ 取り付けブラケットからスクリーン本体を取りはずす時には、必ず2名で行ってください。1人で作業を行うとスクリーン本体の落下、作業者の転倒や転落などの恐れがあります。
- ・ 内部ブラケットのツメからスクリーンを外した時に、スクリーン本体から手をはなさないでください。スクリーン本体の落下によって人的障害の発生の恐れがあります。

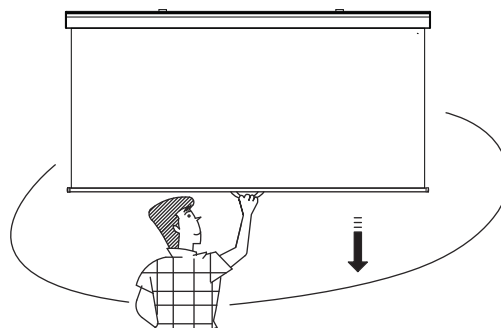
## スクリーンの使い方

### ◆引き出すとき

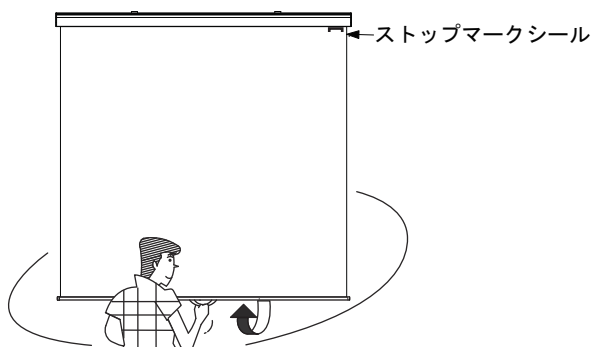
1. 付属のプルバー(引き下げ棒)を、スクリーンのハンドルにひっかけ、引き出します。



2. 手が届く位置まで下げたら、手に持ち替えて引き出します。  
(注)この時ロックが掛かった場合でも、そのまま引き下げてください。

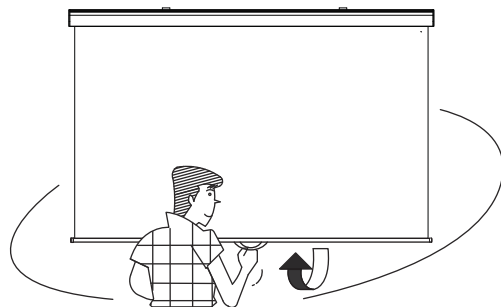


3. スクリーンの引き出しは、必ずストップマークシールがプロテクターケースから見え始めるまでの範囲で使用してください。止めたい位置でハンドルをしっかりと握ったまま約3秒~5秒静止させ、ロックが掛かった事を確認してから手をはなしてください。



### ◆収納するとき

1. ハンドルをしっかり手で持ち、スクリーンを10~20mm引き下げ、ロックを解除させるとスクリーンは、自然に巻き戻ります。



 <b>注意</b>	スクリーン上部に貼ってあるストップマークシール以上引き下げないでください。ストップマークシール以上引き下げた状態で長時間放置しますとスクリーンが脱落する恐れがあります。
	収納時のボトムバーの接触音が気になる方は付属のボトムキャップクッションをボトムキャップにおつけください。
	巻き上がり時の上昇速度は、環境温度(室温および空調温度)によって変化しますが故障ではありません。
	フリーストップ機構の採用により、ロックは約30mm間隔で働きます。この間隔のピッチでスクリーンを止めることができます。

 <b>注意</b>	<b>機構部の保護の為、連続して昇降させないでください。</b>
	<b>スクリーン面をきれいに保つため、ご使用のあとは必ずスクリーンをプロテクターケース内に巻き戻してください。(その際、虫等が付着していない事を必ず確認してください。)</b>
	<b>プルバー(引き下げ棒)は、必ずグリップ部分を握って使用してください。ひっかけ部を握ったり振り回したりすると、思わぬけがの原因となります。</b>

# 注意

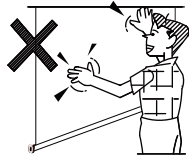
スクリーン面は反射性能を特別に強力にするために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして丁寧にお取り扱いください。

## 使用上のご注意

- スクリーン面に手をふれないでください。



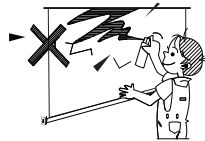
禁止



- スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



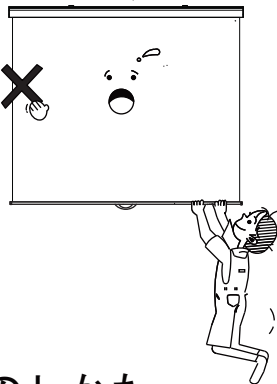
禁止



- ケースやスクリーンにぶら下がったり、掲示物をかけたりしないでください。破損したり、落下してけがの原因となることがあります。



警告



- ケースは絶対にあけないでください。故障のときはお買い上げの販売店にご相談ください。



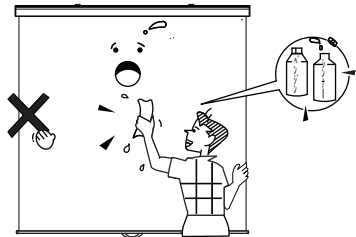
分解禁止



- 水を湿らせた布やベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質したり塗料がはげたりします。



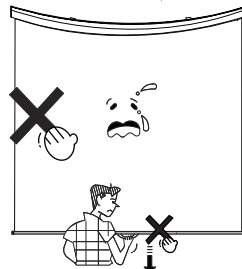
禁止



- スクリーンを無理に引き出さないでください。本体またはスクリーンが脱落する恐れがあります。



禁止

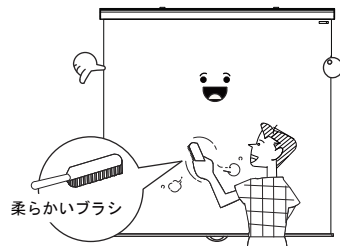


## お手入れのしかた

- ケースの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。

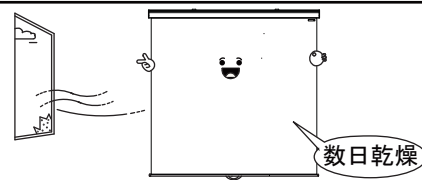


## 置き場所・保管についてのご注意

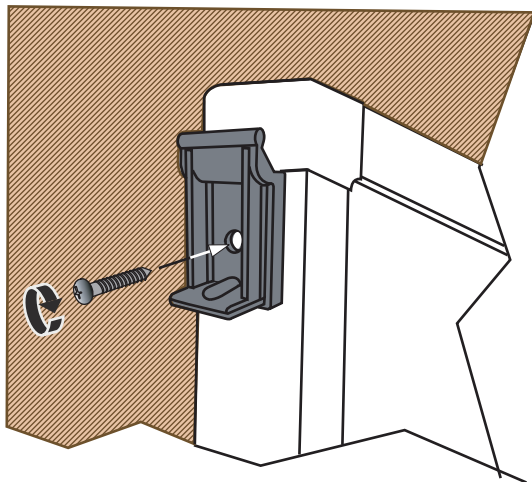
- 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気が多い場所や熱器具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。



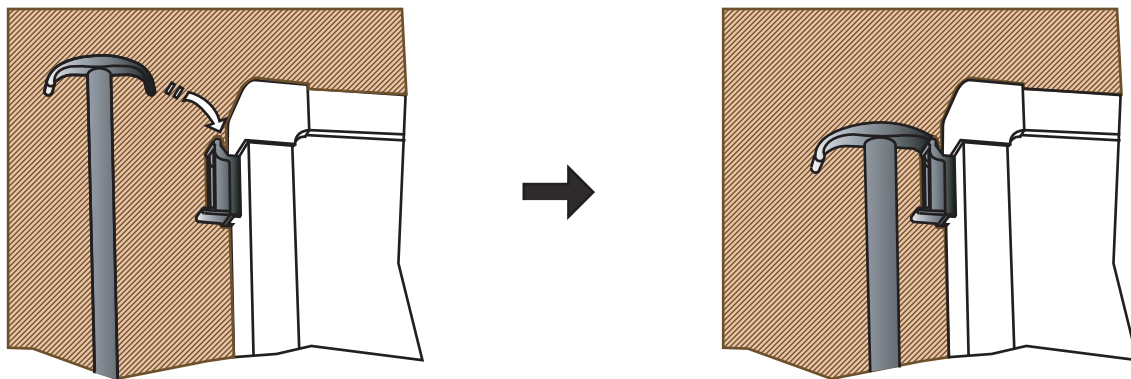
スクリーン表面は出荷前に充分乾燥させていますが、万一オイルが強い場合は、窓を開け風通しを良くし、数日乾燥させてください。



1. 付属のプルバー(引き下げ棒)ホルダーを、付属の取り付け用ネジ(M4×15mm)を使って壁または黒板などに取り付けしてください。



2. プルバー(引き下げ棒)をご使用にならない場合はプルバー(引き下げ棒)ホルダーにかけておいてください。



◆ 使用例



販売元：日本総代理店

株式会社 キクチ科学研究所  
本 社

〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-35  
TEL. 03-3952-5131(代) FAX. 03-3953-0051

大阪営業所

〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-5-2  
四ツ橋新興産ビル100B号

TEL. 06-6567-9035(代) FAX. 06-6567-9036

<http://www.kikuchi-screen.co.jp/>

KIKUCHI SCIENCE LAB © 2021. 03 GSR\_AF\_RW

**KIKUCHI**  
KIKUCHI SCIENCE LABORATORY, INC.